

三重大学海女研究センター 「海女学講座Ⅲ 海女の魅力再考」

三重大学人文学部総務担当 ☎ 059-231-6991



海女学講座Ⅲ ～文学、水産、観光、美術、写真などから多面的に海女の魅力を探る～

鳥羽・志摩の海女は、なぜ人を惹き付けるのでしょうか。これまでの海女学講座では、主に歴史や民俗、水産の分野から海女を論じてきました。今年度は文学や芸術の面も加えて、改めて海女の魅力を考えます。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響で、開催日程に変更がある可能性があります。事前に三重大学人文学部総務担当に問い合わせていただくか、海女研究センターまたは海の博物館のホームページで確認してください。

ところ 市立海の博物館・映像ホール

○真珠と海女の文学

と き 11月21日(土) 午後1時30分～3時

講 師 ミキモト真珠島・真珠博物館館長 松月 清郎 氏

○水産資源の管理とこれからの海女漁

と き 12月5日(土) 午後1時30分～3時

講 師 三重大学生物資源学研究科教授 松田 浩一 氏

○シンポジウム「各地の海女と海藻漁」※海女研究会を兼ねて開催

と き 12月19日(土) 午後1時30分～4時

講 師 名古屋工業大学非常勤講師 齋藤 典子 氏

内 容 潜水漁を行う日本・台湾・韓国の海人の漁撈形態から考える海洋資源の利用と保護

講 師 南山大学准教授 藤川 美代子 氏

内 容 「よい石花菜」をめぐる解釈の多様性-台湾東北角における「海女の民俗」の共同研究からみえてきたこと

講 師 三重大学人文学部教授
三重大学海女研究センター 塚本 明 氏

内 容 近世志摩海女の手漕ぎの特質

○日本と韓国の海女観光比較

と き 1月9日(土) 午後1時30分～3時

講 師 韓国東義大学校教授 劉 亨淑 氏

○海女の生き方に魅了されるアーティストたち(仮題)

と き 1月23日(土) 午後1時30分～3時

講 師 海の博物館事務局長 石原 真伊 氏
女子美術大学准教授 リンダ・デニス 氏

○石鏡の古写真を語る-海女関係アーカイブ事業報告を兼ねて

と き 2月6日(土) 午後1時30分～3時

講 師 石鏡海女・フォトグラファー 大野 愛子 氏
三重大学海女研究センター 塚本 明 氏
吉村 真衣 氏

主催：三重大学海女研究センター

共催：鳥羽市立海の博物館（公益財団法人 東海水産科学協会）、鳥羽市教育委員会、志摩市教育委員会

後援：海女振興協議会

鳥羽市民文化会館の閉館について

市民文化会館 ☎ 25 1220

鳥羽市民文化会館は9月30日(水)をもって貸館業務を終了し、10月1日(木)から市役所西館庁舎として運用をしていきます。

市民のみなさんや各種団体のかたには、当会館の完成から現在まで長年にわたり利用していただきありがとうございました。

今後の文化芸術や生涯学習の機能・拠点は、大明東町にある鳥羽中央公園の鳥羽市民体育館に移ります。

各種会議室の利用を希望されるかたは鳥羽市民体育館(☎25 6215)へお願いします。

また、市役所西庁舎に変更した後も鳥羽市中央公民館の役割は残ります。中央公民館の利用を希望されるかたは教育委員会生涯学習課(☎25 1268)へ問い合わせてください。

